

おだがいさま

odagaisama

74号
平成30年
2月1日発行

大風揚げがれ 天までとどけ!!

「パワーアップ事業」で地域が一つに!!



シリーズおじゃまします 第9回 湯野浜地区

湯野浜地区社会福祉協議会では、高齢者の活躍の場の創設と世代間交流を目的とした独自の「パワーアップ事業」に取り組んでいます。事業を進めるパワーアップメンバーと共に、平成29年11月3日、湯野浜海岸で小学生から高齢者までの地域住民の方々の参加協力の下、大風揚げが行われました。

この日は快晴でしたが風には恵まれず、小風を揚げるのも難しいコンディション。風が吹くのを待ち望む中、いよいよ大風揚げに挑戦。皆の期待を背負った大風は見事に青空へ上り、湯野浜地域の活性化への願いと共に堂々と大空を舞い続けました。

今、生活のしづらさを抱える世帯の課題は、ますます複雑、多様、深刻化し、また人と人との絆が薄らぐ中で、他人事を我が事として共感しあい、相談は多様な課題を丸ごと引き受け、また、支える人、支えられる人と言う関係ではなく、誰もが支え支えられる「地域共生社会」が提唱されています。

これは、社協が目指す「おだがいさまのまちづくり」に他ならず、本年もこの取り組みをより一層強めて参りたいと存じます。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年もまた、鶴岡市社会福祉協議会是一人でも多くの市民の幸せを願い、地域福祉をはじめとした各種福祉サービス事業を役職員一丸となつて進めて参ります。

あけまして、おめでとうございます。皆様には健やかな新年をお迎えになられたこととお喜びを申し上げます。また、日頃から社協活動にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。



会長 山木 知也

年頭のご挨拶





このまちで働き、このまちで暮らすために

就労で悩んでいる方々の支援を行っています

質問：鶴岡市の高齢化率（六十五歳以上の高齢者が総人口に占める割合）は何%でしょうか？次項の左側から選んでね。

くらしステーション「くらし」とは？

病気や失業、借金などで暮らしの困りごとを抱えている方々の相談に応じ、包括的・継続的な支援を行いながら、自立へつなげていく相談支援機関です。

平成二十七年四月から「生活困窮者に対する支援制度」が始まり、今年度で三年目となりました。

「くらし」には年間二百件を超える相談があり、就労等に関する困り事相談も多く寄せられています。（昨年度実績二百十四件中就労に関する困り事百二十四件）

相談を介しての地域づくりを目指して

「くらし」では、それぞれの事情で仕事に就くことができない方と、人材確保が困難な企業（産業）等が、ともに満足できるような取り組みが必要であるとの思いから、「職場体験」の受け入れをお願いしています。

この取り組みでは、単に「社会貢献のための雇用」ではなく、個人と企業双方にメリットがある雇用を目指しています。仕事ができる喜びを感じ、住み慣れた地域で暮らしを続けられるような支援を心がけています。

職場体験 企業のメリット

潜在的な人材の発掘／人手不足の解消／次世代の担い手の育成／面接では分らない求職者の個性の理解／人材育成のノウハウの向上

地域の企業の皆様より聞き取り調査にご協力いただいています

この取り組みをより良い方向に進めていくために、地域の企業等四十五社にご協力をいただき聞き取り調査をしました。

●調査結果から観えてくること●

求人者数は右肩上がりであることを示すように、「人手不足で悩んでいる」が約半数を占めました。中には「募集を出してもなかなか人が来ない」といった声も聴かれました。

そういった背景から、就労体験の受け入れについても「可能」と回答された企業が約半数あり、そのうち「体験から雇用へ」とステップアップにも前向きに取り組んでいると回答された企業も約七割見られています。

しかしながら、一方では、受け入れに「不安があり、迷いがある」企業も二割弱みられています。

「くらし」は、こうした企業への丁寧な説明とともに、相談者への支援、そして相談を介した地域づくりを続けていきます。

「企業の声」

● これまでも、ひきこもりの方を雇用した経過あり。応相談。

● 事業展開が幅広いので本人にあった仕事が見つかる可能性あり。まずは相談に応じたい。

● 暑かったり寒かったりと大変な仕事もあるが、ぜひ仲間となつて一緒に働いてもらえれば良い。

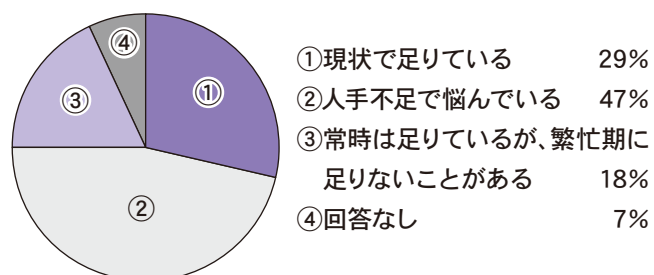
● 慢性的に人手不足ではあるが、専門職（有資格）でもあり就労体験には不向きである。以前のような雑用のみの雇用は難しい。

● 接客が必要なのでコミュニケーションに不安を抱えている人は難しい。

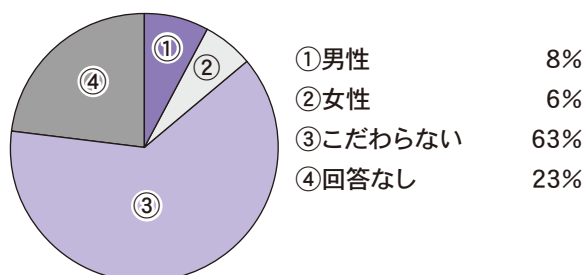
● 突然休むような人は困る。（リネン、清掃業）

企業の人材に関する調査 平成29年12月20日現在 調査結果から一部掲載（調査期間7月～12月）

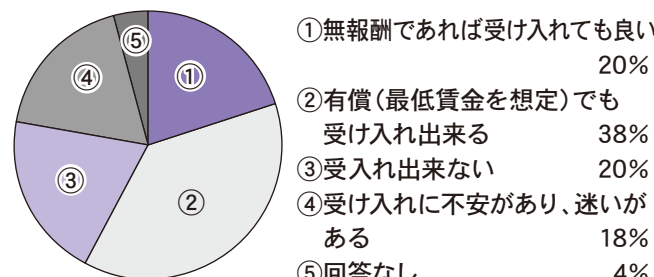
① 人材は十分に足りていますか？



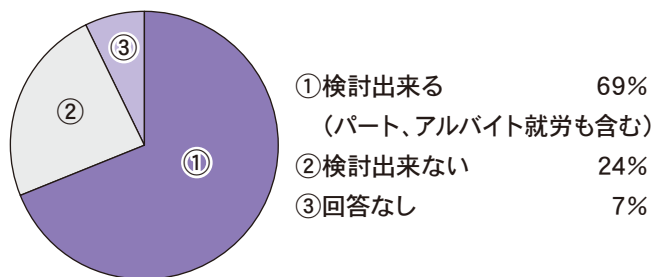
② 求めている人物像は？



③ 職場体験等の受け入れについては…？



④ 職場体験等から職員採用への可能性は…？



鶴岡地域生活自立支援センター「くらし」

鶴岡市役所内
☎25-2111
（内線 602～605）

相談者Aさんから・・・

仕事を辞めてから五、六年ほど家で過ごしていました。仕事に就こうとは思っていましたが、先延ばしにしているうちに、いつの間にか時間が過ぎてしまいました。

くらしから「職場体験してみませんか？」との話をいただき、一日二時間から始めたことで、少しずつ仕事にも慣れ安心して働くことができました。おかげさまで一度も休まず仕事にきています。（四〇歳代／男性）

相談者Bさんから・・・

以前勤めていた会社での対人恐怖症で引きこもりとなり、ハローワークに訪れる壁がどんどん高くなっていました。家族の職場変更により、これまで入っていた送りがなくなり、「このままじゃいけない」と思い、くらしの出張相談会に申し込みました。

相談に行ってから、面接、採用決定、初勤務の日取りがとんとん拍子に決まっていき、戸惑いもありましたが、「やっと社会の一員になった」という安心感を得ることができました。

うどん市朝陽店社長 工藤祐吉氏

楽しさが労働、商売、イベント、行動などのすべての原点のように思っています。ですが、その中に二割くらいは多少大変なことや、苦労、困難があつてよいと思っています。

「楽しいこと」から活力が生まれ、職場も活性化して、仲間同士のコミュニケーションや互いの信頼関係、他者を思いやる優しさが生れます。そういった活力が個々の成長と共に事業を上向きにしてくれると思います。

佾山新聞鶴岡南専売所 代表 村山智昭氏

私どもの新聞配達業務は、朝も早く、冬は豪雪の地域でもあり、決して楽な仕事ではありません。

しかし、集金業務などを通して、地域とのコミュニケーションをもったり、また、日中の余暇活動を通して、地域の活動や農業技術の習得、介護などに活かしたりなどしております。おだやかに社会への窓口ともなっていることを感じています。本人の意気込み次第ですが、様々な困難を乗り越えながら地道な人生を生きる糧とも術ともなればと、そのように思っています。

おもいやりあふれる羽黒地域を目指して

羽黒福祉センターでは、昨年度から実施している【羽黒おもいやりプラン】に掲げた目標「災害に強いまちづくり」と「自治振興会との連携」に取り組むために、防災訓練等に参画しています。

今年度は9月に手向地区で羽黒地域防災訓練が実施されました。訓練では、要援護者の支援方法の共有を目的に、車イスでの避難者への支援訓練を行うとともに、災害ボランティアセンター（以下、災害ボラセン）についての説明ブースを設置しました。

災害ボラセンブースでは、ボランティアとして参加する方法や、災害ボラセンの受入れ手順、災害時の拠点としての災害ボラセンの役割等について説明させていただき、地域の参加者の皆さんと「災害に強いまちづくり」や連携の大切さ、ボランティアなどについて考える機会とさせていただきました。

今後も羽黒地域の各自治振興会福祉部会等との協力・連携等を通し、部会の一員として事業実施等に取り組みながら、「おもいやりのあふれる羽黒地域」づくりの実現を目指していきます。



お父ちゃん、なにがあったら
こうやって逃げがらのー

鶴岡福祉バス抽選会 事前申請受付(平成30年4月～6月分)

鶴岡福祉バス抽選会のための事前申請を次の日程で受け付けます。

- ＊対象期間 平成30年4月～6月 1団体1回の予約ができます。＊申請書の備考欄に希望月を記入してください。
- ＊利用対象 旧鶴岡市域に住所を有する個人または団体
- ＊申請期間 平成30年2月1日(木)～2月15日(木) ＊抽選日 平成30年2月22日(木)
- ＊申込み・問合せ 鶴岡市社会福祉協議会総務課 TEL24-0053 (申請書は社会福祉協議会 総務課にあります)



ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成29年11月7日～平成30年1月6日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

- ・鶴岡市立荘内看護専門学校 看学祭実行委員会 様 10,000円
- ・真言宗豊山派仏教青年会山形二支所 様 81,674円
- ・鈴木 貞子 様 30,000円
- ・匿名 フードバンクへ/精米20kg
- ・第二学区笑顔で健康の福祉デー 様
- ・フードバンクへ/食料(缶詰、即席麺等)42点
- ・匿名 子ども食堂へ/じゃがいも5kg
- ・ノーマライゼーション親善交流卓球大会実行委員会 様 使用済み切手1805枚
- ・真如苑 様 200,000円

◎藤島福祉センターへ

- ・藤島地域婦人会 様 5,000円

◎羽黒福祉センターへ

- ・田川建設労働組合 羽黒支部 様 5,000円

◎朝日福祉センターへ

- ・田川建設労働組合 朝日支部 様 15,000円

◎温海福祉センターへ

- ・鶴岡市立鼠ヶ関小学校 五年生児童一同 様 2,100円

★地域福祉センターなえづへ

- ・日本生命労働組合 山形支部鶴岡営業部 様 紅白玉入れ競技用具一式
- ・(株)産直あぐり 様 りんご3箱

★老人デイサービスセンターふれあいへ

- ・鶴岡市立朝陽第六小学校児童会 様 車イス1台

★高齢者福祉センターおおやまへ

- ・鶴岡市立大山小学校 様 12,000円

★老人デイサービスセンターおおやまへ

- ・山田 朝久 様、静子 様 50,000円

★老人デイサービスセンターおおやまへ

- ・工藤 七三郎 様 門松一對

★とようら老人デイサービスセンターへ

- ・はまゆりの会 様 フェイスタオル50枚

- ・川上 恵 様 タオル、バスタオル等48枚

- ・橋本 有石 様 タオル、下着、古着等47点

- ・工藤 七三郎 様 門松一對

- ・小波渡婦人会 様 インスタントコーヒー2セット

- ・三瀬婦人会 様 インスタントコーヒー2セット

★御引すこやかセンターへ

- ・(株)産直あぐり 様 りんご4箱

- ・工藤 七三郎 様 門松一對

★くしびき保育園へ

- ・株式会社 トガシ技研 様 ラウンドバルーン80個

★御引地域の保育園へ

- ・小林 純 様 幼児用ティールセット2セット

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

- ・株式会社クアポリス温海 様 30,000円

★もみじが丘へ

- ・マルゴ会 様 62,000円

- ・マックスバリュあつみ店 様

- クリスマスケーキ11台

- ・(株)産直あぐり 様 りんご2箱

★特別指定寄附

(もみじが丘、さくらが丘、あすかへ)

- ・庄内ヤクルト販売(株) 様

- 庄内ヤクルト販売店親交会 様 150,000円

おだがいさま

第74号

平成30年2月1日発行

発行部数 48,800部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる2階)

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

御引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。